

都市空間を
プロデュースする

Cooperation for JICA Projects

Urban plan

Development Plan

Surveying

Support of Development Method Introduction

Design Supervision

NIPPON KOEI URBAN SPACE

日本工営都市空間株式会社

本 社 名古屋市東区東桜二丁目 17 番 14 号
TEL:052-979-9111
東京本社 東京都千代田区麹町四丁目 2 番地
TEL:03-3514-6600
支 店 仙台・静岡・大阪・九州・沖縄
U R L <https://www.n-koei.co.jp/urbanspace/>



NIPPON KOEI URBAN SPACE

日本工営都市空間株式会社

誠意をもってことにあたり、

技術を軸に社会に貢献する。

Act with integrity and contribute to society
through technology and engineering.

1946年の日本工営の創業以来、私たちID&Eグループは、国内外で社会資本の整備に尽力してきました。創業者の久保田豊は「誠意をもってことにあたれば必ず途(みち)は拓ける」と説き、安全・安心な社会基盤づくりに技術と情熱を傾けてきました。信念をもって事業にあたり、社会に貢献するというDNAは、今も従業員一人ひとりに脈々と受け継がれています。私たちは、これからもグループ一丸となり、誠意をもって世界各地で国づくり・社会づくりに貢献していきます。



社会
時代とともに
変化する社会課題

ID&Eグループ
社会課題解決を事業化
ニーズに応じた
変革の実行

社会とともに発展する
サステナブルなビジネスモデル

時代とともに変化するニーズに応じて、ID&Eグループも変革を行いながら、新たな技術開発と実装を行うことによって、より良い社会基盤整備に貢献しています。

コンサルティング事業

NIPPON KOEI

日本工営

エネルギー事業

NIPPON KOEI
ENERGY SOLUTIONS

日本工営
エナジー
ソリューションズ

都市空間事業

NIPPON KOEI
URBAN SPACE

日本工営
都市空間

ID&Eグループ体制

ID&E

ID&Eホールディングス

グループ経営管理

NIPPON KOEI
BUSINESS PARTNERS

日本工営
ビジネス
パートナーズ

都市空間事業

BDP.

BDP HOLDINGS
LIMITED

その他
グループ会社

ID&Eグループは、「共創。限界なき未来に挑む」をコンセプトとした長期経営戦略において、社会課題に応え続けることを戦略の基本に据え、「コンサルティング」「都市空間」「エネルギー」の3事業を基幹事業と位置づけ、さらなる成長を目指しています。

中長期的な視点でグループの経営を深化させ、今後の成長を確かなものとするため、持株会社がグループ全体の戦略の策定とガバナンスを担当し、各事業会社は自律的かつ機動的に事業を推進する、持株会社体制へ移行しました。

日本工営都市空間は、これまで蓄積してきた土木・建築領域に跨る技術と経験を活かし、公共事業を中心としたこれまでの業務領域をよりサステナブルに、そして生活者視点で深化させていくと共に、さらに発展させ、都市空間領域における都市の総合的なプロデュースに関わることによって、近年の複雑化する都市課題の解決を図り、社会に貢献していきます。





BUSINESS

01

都市開発コンサルタント事業 P06~07

私たちは、法定都市計画や都市交通計画、官民連携まちづくり、区画整理や市街地開発、ランドスケープ、建築、海外開発など、都市を取り巻く全ての分野において、調査、計画設計・監理、事業運営、維持管理におけるワンストップでのサービス提供により、社会的課題の解決やサステナブルな都市・まちづくりの実現に取り組めます。

都市開発・社会基盤・総合調査コンサルタント事業を融合し 持続可能なまちづくり・地域づくりを総合的にプロデュースします

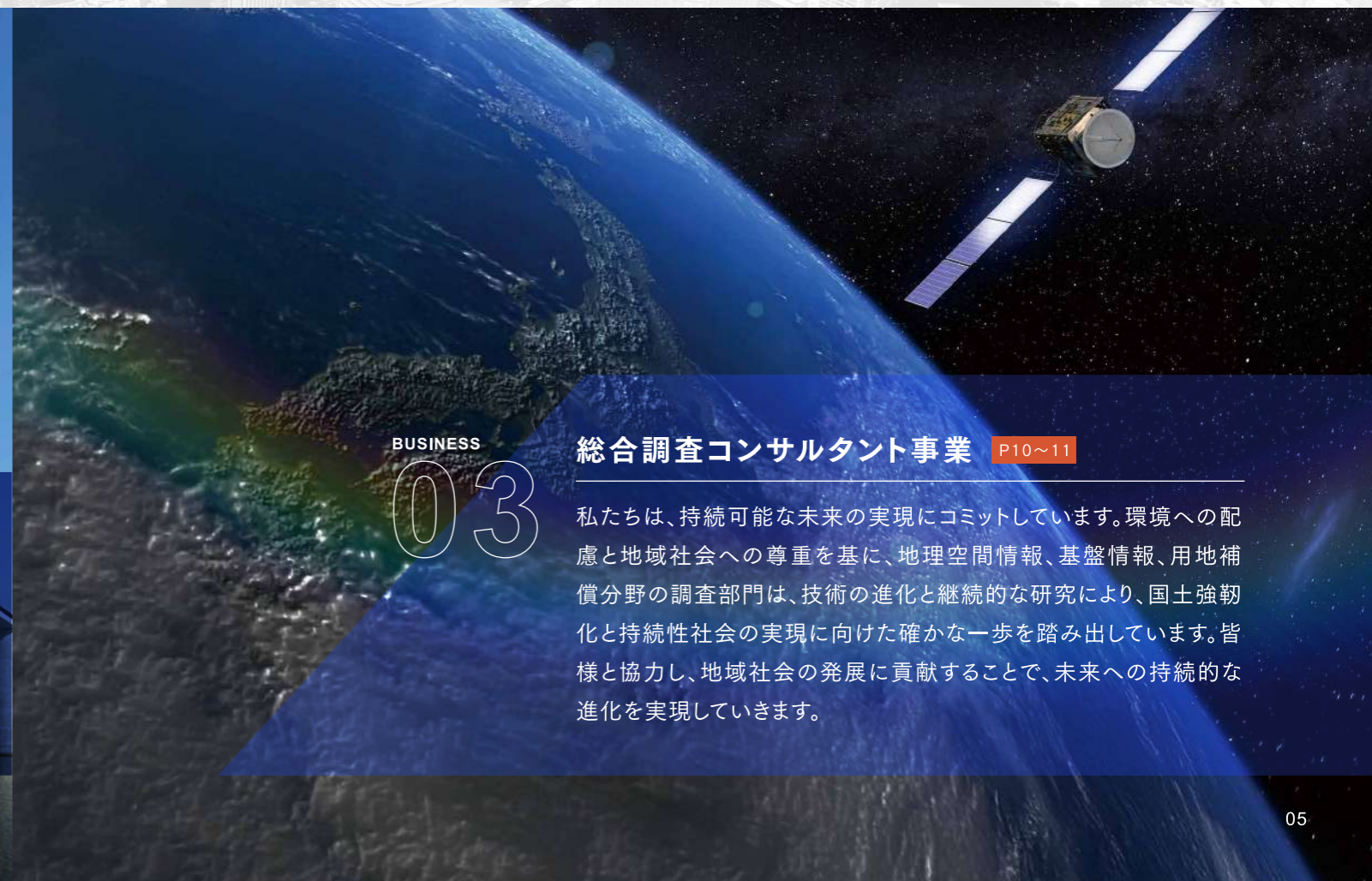


BUSINESS

02

社会基盤コンサルタント事業 P08~09

私たちは、都市・地域づくりを支えるインフラを、道路橋梁、流域水工、上下水道、地球環境の幅広い分野での経験と技術力で、調査・計画・設計・維持管理などに対応してマネジメントを行います。



BUSINESS

03

総合調査コンサルタント事業 P10~11

私たちは、持続可能な未来の実現にコミットしています。環境への配慮と地域社会への尊重を基に、地理空間情報、基盤情報、用地補償分野の調査部門は、技術の進化と継続的な研究により、国土強靱化と持続性社会の実現に向けた確かな一歩を踏み出しています。皆様と協力し、地域社会の発展に貢献することで、未来への持続的な進化を実現していきます。



都市開発コンサルタント事業

Urban Development Consulting

土地区画整理事業での圧倒的な実績(全国約700地区、約30,000ha)を活かし、あらゆる都市空間事業を総合的にプロデュースします

社会や環境変化への対応など、多様化するまちづくりに対し、都市交通、官民連携、市街地開発、開発設計(許認可)、ランドスケープ、建築、海外開発の分野において、豊富な実績と技術サービスの提供により社会に貢献します。
また、スマートシティ・官民連携まちづくり・産業拠点開発・大規模跡地開発など、新たな社会ニーズに対し、積極的に支援します。

SERVICE 01

スマートシティ

先進技術を活用して
持続可能な都市空間を創造

新たなスマート技術を活用して都市の機能やサービスを効率化・高度化することで、まちづくりの課題解決を図るとともに、快適で利便性の高い新たな価値の創出を目指すスマートシティを実現します。



SERVICE 02

官民連携まちづくり

地域住民が暮らしやすい
まちづくりを企画・実施

自治体や民間事業者からの要請に応え、公園・建築物・都市施設などの様々な官民連携事業をプロデュースします。



SERVICE 03

大規模跡地開発

跡地の再生や再利用を通じて
地域の活性化を図る

臨海部の大規模工場跡地など、土地の利活用や再開発に向けて、様々な課題解決と次世代のまちづくりを提案します。



SERVICE 04

産業拠点開発

地域経済の活性化や雇用の創出など
産業の成長促進を目指す

新たに地域を支える産業拠点開発の適地調査から開発許認可・設計まで包括的に支援します。



民間企業による市街化区域編入開発事例(矢作建設工業株式会社)



社会基盤コンサルタント事業

Civil Engineering Consulting

都市空間事業を支える社会基盤を幅広くコンサルティングして、安全・安心で魅力あふれる地域づくりを創出します

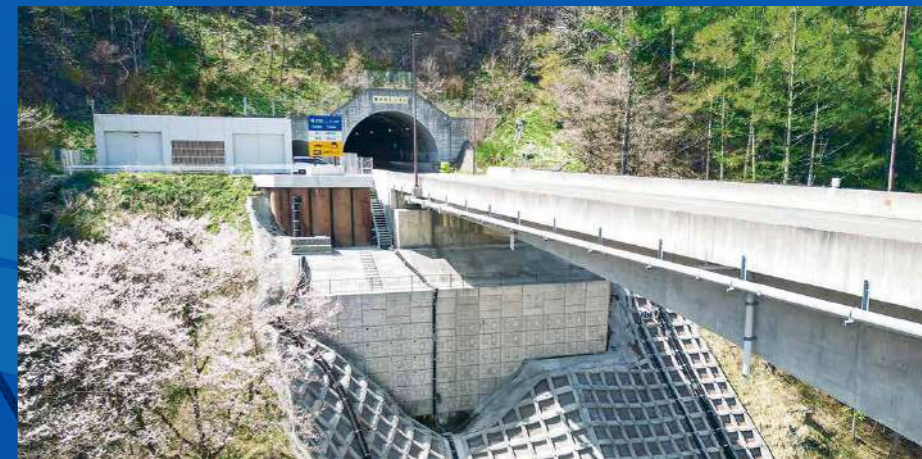
道路・橋梁や河川・砂防・海岸、上下水道や農業土木などインフラ整備の計画・設計・維持管理に関わる様々なシーンで地域に根差した事業展開を行います。また、大規模盛土やゼロカーボンなど防災や環境についても積極的に取り組み、昨今頻発している自然災害への復旧・復興なども行います。

SERVICE 01

道路橋梁

道路施設や橋梁の長寿命化に必要な技術サービスを提供

道路・橋梁などの地域に欠かせないインフラを、高度で多岐にわたる総合的な技術を用いてコンサルティングを行います。



SERVICE 02

流域水工

人々を災害から守るために施設の計画・設計に取り組む

河川や砂防、海岸、農業土木など流域に関わる幅広い調査・設計・維持管理全般を行います。



SERVICE 03

上下水道

総合力を活かして、上下水道の課題に対応

上下水道管や処理場・ポンプ場など上下水道施設の調査・計画・設計・維持管理を幅広く行います。



SERVICE 04

地球環境

環境への影響を調査し、環境保全計画を提案

防災や地質、自然環境や環境アセスメントなど地球環境に対する調査・解析・計画全般を行います。





総合調査コンサルタント事業

Comprehensive Survey Consulting

都市空間事業の未来を築く 地理空間情報、基盤情報、用地補償の調査部門が贈る持続的な進化

都市空間事業の未来は、地理空間情報、基盤情報、用地補償の調査部門が共に築いていくものです。持続可能な社会と強靱な都市を目指し、我々は技術と研究の力で未来への挑戦に立ち向かいます。皆様とともに、都市空間の進化を支え、豊かな未来への一歩を共に踏み出しましょう。

動画は
こちら ▶



SERVICE 01

地理空間情報

都市空間事業における
プラットフォームとなり
高度なサービス・付加価値を提供

我々の地理空間情報分野は、先進的な技術と精密なデータ解析により、国土強靱化と持続性社会の基盤を支えます。空間データの高度な利活用により、災害時の緊急対応や都市計画の最適化を可能にし、高い技術力で地域社会の安全性を向上させています。



SERVICE 02

基盤情報

まちづくりの基盤となるさまざまな
情報の調査、管理をワンストップで
トータルサポート

土地や建物(固定資産関連/森林/空き家など)・インフラ施設(道路/上下水道/公園/照明灯など)・民間保有施設の現況調査～台帳(データベース)作成～システムによる管理支援とメンテナンスまで調査管理ワンストップ、公共事業の権利調査や登記(登記事項及び権利者確認調査/換地処分登記)など、さまざまなニーズにお応えします。



SERVICE 03

用地補償

あらゆる補償の
包括的マネジメントにより
安心・安全な街づくりを実現

都市の進化や環境の変化に伴う用地補償は、用地アセスメント調査をはじめ綿密かつ計画的なマネジメントが求められます。用地補償分野は、新しいプロジェクトが地域社会にポジティブな影響を与えるよう、公正かつ効果的な補償策を提案しています。持続可能な都市空間の構築に向け継続的な進化と創造性を発揮しています。



高架化した太田川駅



東海市太田川駅周辺(着工前)



東海市太田川駅周辺(竣工時)

複合事業

Integrated Urban Development Project

都市開発コンサルタント事業

Urban Development Consulting



南三陸町志津川地区
震災復興事業
宮城県本吉郡



東海太田川駅西
土地区画整理事業
愛知県東海市



愛・地球博記念公園(北エントランス)
愛知県長久手市



川崎市立柿生小学校
神奈川県川崎市



長久手中央地区土地区画整理事業
愛知県長久手市



キセラ川西せせらぎ公園(キセラ川西PFI事業)
兵庫県川西市



西九州新幹線新大村駅さざなみ口(西口)
長崎県大村市



ラオス国都市開発管理・促進能力強化プロジェクト



宮城県・仙台市消防航空隊庁舎及び格納庫
宮城県岩沼市



伊豆市松原公園津波避難複合施設
静岡県伊豆市

社会基盤コンサルタント事業

Civil Engineering Consulting

総合調査コンサルタント事業

Comprehensive Survey Consulting



石巻かわみな大橋
宮城県石巻市



災害復旧:権兵衛峠
長野県上伊那郡南箕輪村



安仁屋橋
沖縄県宜野湾市



太田川駅周辺3D都市モデル



モバイル計測ツールを活用した道路台帳平面図作成



砂防堰堤のCIM事例



農業用ため池の計画・設計



下水ポンプ場のBIM/CIM活用事例



地質調査



施設点検の状況



水文調査



長良川船着き場



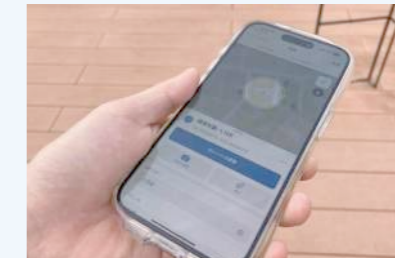
菊川の水門



港湾施設の点検・維持管理



アプリを活用した森林の現況調査



アプリを活用した空き家の現況調査



WEB COMPUS:商標登録(Web版GIS)
道路管理システム 上水道管理システム
下水道管理システム 固定資産管理システムなど



災害箇所のUAV・TLSでの地形図作成



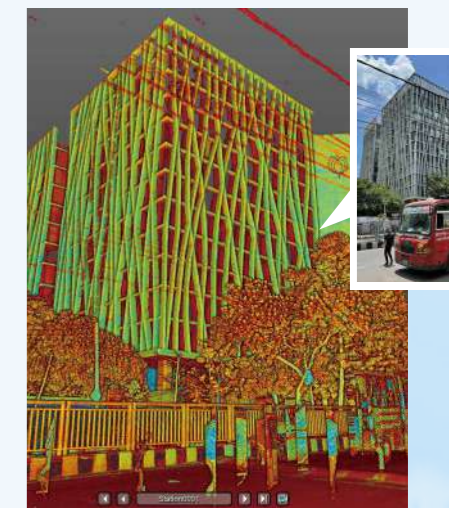
タブレットと360°カメラでの施設調査

用地リスク特定調査票										
段階	第1用地アセスメント調査									
	第2用地アセスメント調査									
概況写真	位置図									
用地リスク工程表										
効	用地取得	用地リスク	処理	処理年数						
率			期間	1	2	3	4	5	6	7
化	土地の調査・測量	事業反対者	2.3							
策	建物等物件調査	工場	0.5							
の	補償額算定	工場	1.5							
導	用地交渉	行政不備	1.2							
入	土地の明け渡し	工場	1.5							
	想定処理期間		7.0							
										用地処理期間(目安)

用地アセスメント調査・用地取得工程管理計画策定



街路拡幅事業に係る補償物件調査業務



バンラデシュでの地上レーザ計測



LIVERPOOL ONE

リバプール/英国

リバプールの約17万㎡のエリアのマスタープラン及び建築を担当した大規模プロジェクトです。このエリアでは新築及び改修によって建物、通路、オープンスペースを組み合わせた複合商業施設リバプール・ワンを実現しました。リバプール・ワンには商業施設の他、飲食店、スタジオ、公園、集合住宅及び映画館が整備されています。



広島市現代美術館
撮影/SATOH PHOTO 佐藤和成



福島県立恐竜博物館
撮影/川澄・小林研二写真事務所 三井笑奈

VICTORIA STATION MANCHESTER

マンチェスター/英国

マンチェスターの主要駅の一つであるピクトリア駅の改修を設計しました。歴史的建造物である駅舎の屋根は撤去され、新たに1万5千㎡規模のETFEの膜構造の屋根による柱のない大空間が誕生しました。さらに空間に新たな階層を導入することで、多様な駅機能を維持しつつ乗換の接続性を改善しました。



写真提供/Martine Hamilton Knight



GLASGOW SCIENCE CENTRE

グラスゴー/英国

グラスゴーを象徴する建物として、国内初のIMAXシアター、サイエンスモール及びスコットランドの支柱がなく自立した建物として最も高い構造体を設計しました。これらの建物は、チタンやアルミニウム等の最先端の素材で包み込み、テフロン製の屋根や「発見」トンネルと呼ばれる特徴的な形状により、建物間の一体感を形成しています。



深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム
撮影/川澄・小林研二写真事務所 三井笑奈



在本邦インドネシア共和国大使館

商号	日本工営都市空間株式会社(Nippon Koei Urban Space Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 吉田 典明
設立	1951年(昭和26年)10月1日
事業内容	<p>▶都市開発コンサルタント事業</p> <p>都市交通 都市計画/交通計画 官民連携 官民連携事業の導入検討・アドバイザー/公共施設再編 市街地開発 区画整理/市街地開発事業 開発設計 開発許可/造成設計 ランドスケープ 公園緑地等の調査・計画・設計/公園長寿命化 建築 建築計画・設計・監理/建築PM・CM・FM 海外開発 都市計画/駅周辺/土木インフラの調査・計画・設計</p> <p>▶社会基盤コンサルタント事業</p> <p>道路橋梁 道路橋梁の調査・計画・設計、自治体(地域)のインフラ管理事業の支援/ IT技術の展開 流域水工 河川/砂防/海岸/港湾/農業土木分野の調査・計画・設計および維持管理支援 上下水道 上下水道分野の調査・計画・設計、官民連携、アドバイザー 地球環境 再エネ事業、環境アセスメント、環境調査および環境保全対策検討、 地盤調査/地盤解析、水文調査、大規模盛土、防災マップの作成</p> <p>▶総合調査コンサルタント事業</p> <p>地理空間情報 3次元計測/衛星データを解析・活用した地理空間コンサルティング、 地理空間計測、地理空間情報整備 基盤情報 土地・建物・インフラ施設調査～台帳作成～管理支援構築・ メンテナンスの調査管理ワンストップ/権利調査 用地補償 用地取得支援/補償相談等の補償コンサルティング 土地調査/土地評価/物件/機械工作物/営業・特殊/事業損失/ 補償関連/総合補償/不動産鑑定</p> <p>▶技術支援部門</p> <p>BIM/CIM 社内のBIM/CIMに関する施策立案、推進、調整・教育 DX デジタル技術を活用した既存業務の生産性向上・品質確保・付加価値創出、 新規サービス創出</p>
資本金	16億8200万円
本社所在地	本社:名古屋市東区東桜二丁目17番14号 東京本社:東京都千代田区麹町四丁目2番地
支店	仙台・静岡・大阪・九州・沖縄



マチゾラの空地から
マチ/テをつなぐ

つながる・はぐくむ・ひろがる
ワクワクするまちなかイベント



**まちの場づくりから
都市ストックマネジメントに挑戦**

当社では、各本部の将来的な発展のために、新商品の開発あるいは従来提供している商品の改良について先行投資を行う研究開発を行っています。

その活動の一環として、まちの場づくりから都市ストックマネジメントに挑戦することを目標に、当社が地域の一員として「都市ストックをつかう」取り組みを実践しており、「マチゾラシンサカエマチ」として、まちの空地を活用したまちの居場所づくりに取り組んでいます。





本社(名古屋市)
 2007年に完成した自社ビルの本社。日経ニューオフィス賞「中部経済産業局長賞」を受賞。

認定実績
Certifications

プラチナくるみん
 2021年に子育てサポート企業として厚生労働省から「プラチナくるみん」認定を取得。



Sport in Life
 「Sport in Life」(生活の中にスポーツを)というスポーツ庁の取組に賛同し、健康増進のためのスポーツ活動を実施。「Sport in Life」は一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会を目指す取組であり、個別の商品・サービスを推奨するものではありません。

